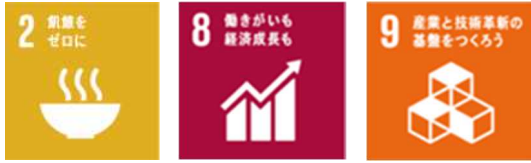


普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月28日
所属名：湖東農産普及課
番号：F23016
部門分類：355
発信者名：富岡、近藤

施設園芸における昇温抑制技術研修会の開催

近年の夏期高温によりイチゴやトマトなどの施設栽培品目で高温障害等が発生していることから、その被害軽減に向けて、当課では、昇温抑制技術の導入を進めています。8月23日に湖東管内の施設園芸農家を対象に昇温抑制技術研修会を開催しました。

近年、夏期に異常高温が記録されており、特に令和5年度は猛暑日(最高気温35℃以上)が例年以上の日数を記録しています。高温の影響により、施設園芸では生育遅延や焼けなどの被害が発生するとともに、収量が減少している品目もあります。

そこで、被害軽減に向けICTバルブと簡易なミストノズルを組み合わせた昇温抑制技術を本年度、愛荘町と多賀町のイチゴ農家2戸に導入し実証ほを設置しました。この技術は、令和4年度に農業革新支援部で実証されたもので、比較的安価で施設園芸農家にも導入しやすい技術です。

湖東管内でこの技術を広く周知するために、今回愛荘町内の実証ほを会場に施設園芸農家を対象とした研修会を開催しました。

研修会には19名の参加があり、当課から昇温抑制技術の詳細を紹介するとともに、ミストを稼働させて昇温抑制効果を確認してもらいました。参加者からは設置方法や効果など多数の質問が出され、関心の高さがうかがわれました。

今後、管内のイチゴやトマト、キュウリなど施設果菜類を栽培する農家を中心に導入支援を行っていきます。



研修会風景



ミストの効果確認